



## 「男の品格」

川北義則 著

人間社会はいつの時代も生きにくい。特に感性が鋭い人、物事がよく見える人ほど生きにくさを感じるものではないかと思う。その生きにくさをどうするかが本書に書かれている気がした。本書は、僕も含めて、現代の男性に足りないものを知らせてくれるものだった。それは、全編を通して訴えているのが「素直に楽しむ力」なのではないかと思った。みんな楽しみたい、幸せになりたいと願っている。子供の時は、周りのことなど気にせず何かに没頭して楽しんでいたと思う。しかし、大人になるに連れ、素直に楽しむことを忘れていく。本当に楽しむと言うことは、素直に自分を追求し続けることであり、時によって残酷である。例えば、恋愛において、好き嫌いをハッキリし、素直に伝えると、相手を傷つけることがある。しかし、身体の関係だけで、お互いの関係を継続し続けると言うことは、本当の恋愛ではないと思う。僕も本当の恋愛をしたことがない。偉そうなことはいえないが、恋愛は、もっと刺激的で、高度なものだと思う。そう願いたい。

お金は確かに大切であると思う。しかし、お金だけを追いかけてしまっている節が現代には見られる。お金に対しての僻<sup>ひが</sup>みや羨望は、一生無くならないと思うが、人生一回きりなのだから一生懸命に幸せに生きたい。社会は、僕が考えているより厳しい。しかし、楽しみながら自分の人生を過ごして「生き」たい。

廣瀬



PHP研究所

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞